



「第2回全国ユース環境活動発表大会」開催結果について

<環境省総合環境政策局同時発表>

平成29年2月28日(火)
独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部
直通：044-520-9505
部長 山口 富夫
課長 本城 宏行
担当 大木、小川、川上、西岡

第2回全国ユース環境活動発表大会（主催：環境省、独立行政法人環境再生保全機構、国連大学サステナビリティ高等研究所）を平成29年2月4日（土）～5日（日）に国連大学にて開催しました。
特に優れた環境活動を行う高校生・大学生の発表に表彰状が授与されました。

全国から選出された16高校の高校生と、「全国大学生環境活動コンテスト（エココン）」（主催：全国大学生環境活動コンテスト実行委員会、2016年12月24日開催）においてグランプリ（環境大臣賞）及び準グランプリ（独立行政法人環境再生保全機構理事長賞）を受賞した一橋大学及び徳島大学の大学生が、それぞれの日頃の創造性のある環境活動について発表を行いました。

高校生の活動発表について、以下の高校・団体が各賞を受賞しました。

- 環境大臣賞 長崎県立諫早農業高等学校
- 環境再生保全機構理事長賞 慶應義塾湘南藤沢高等部
- 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞 兵庫県立御影高等学校
- 高校生が選ぶ特別賞 群馬県立利根実業高等学校
- 先生が選ぶ特別賞 北海道帯広農業高等学校
- 優秀賞 上記以外の出場高校（11校）

そして大会の最後には、エコングランプリ（環境大臣賞）及び準グランプリ（独立行政法人環境再生保全機構理事長賞）を受賞した一橋大学及び徳島大学とともに、表彰されました。受賞校の活動内容は、下記のとおりです。

なお、高校生の大会出場校の取組は、独立行政法人環境再生保全機構ホームページ(http://www.erca.go.jp/jfge/youth/challenge/ear_02.html)、大学生の取組は、エココンホームページ(<http://www.ecocon.info//2016>)をご参照ください。

<高校生>

■環境大臣賞

長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部

活動名：農業廃棄物の有効利用法

かぼちやのゼロ・エミッションへの挑戦

活動概要：長崎県のかぼちやは生産量が全国4位を誇る。しかし約2割が規格外品として処分され、さらに収穫後に広大な畑を覆い尽くす蔓や葉を焼却処分と、生産農家の悩みや現状を知り、研究を始めた。規定外かぼちやの特産品「つきひめ」として商品開発し、蔓や葉などの農業廃棄物は和紙として有効利用を考えた。様々な産業界と連携し、かぼちや廃棄物「ゼロ」を目指している。



■環境再生保全機構理事長賞

慶應義塾湘南藤沢高等部 有志団体 環境プロジェクト

活動名：未来の環境は私たちの手に

活動概要：教育デザイン班、企業連携班、子供支援班、エコキャップ班、古民家班、高校生環境連盟の6つのワーキンググループに分かれ、それぞれが環境活動に取り組んでいる。



■国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞

兵庫県立御影高等学校 環境科学部生物班

活動名：六甲山のキノコにはどんな多様性があるのか

～地域連携から伝える生物多様性～

活動概要：六甲山のキノコの多様性を標本作製、生態分析などから明らかにし、多様性の大切さを活動を通して多くの人に伝える啓発活動を行っている。



■高校生が選ぶ特別賞

群馬県立利根実業高等学校 生物資源部

活動名：赤城山北西麓におけるイノシシの生態・行動調査と侵入防護柵の製作

活動概要：イノシシによる農業被害対策のためイノシシの生態・行動を利用した移動が可能な仮設型進入防護柵の研究を行っている。



■先生が選ぶ特別賞

北海道帯広農業高等学校 十勝川多自然川づくり班

活動名：十勝川中流部における湿地再生と生物多様性の回復

活動概要：十勝川流域における微生物、希少種、鳥類の調査を実施し、行政、市民、高校生との「協働」で生物多様性回復を目的とした川づくりを進めている。



<大学生>

■グランプリ（環境大臣賞）

一橋大学 国立あかるくらぶ

活動名：国立市を日本一きれいな街に

活動概要：国立市を日本一きれいな街にすることを目的に、ごみ拾い活動に参加。拾ったごみの位置情報を地図上にマッピングするスマートフォン用の自作アプリを制作。ポイ捨てしにくいまちづくり・ごみをより多く効率的に拾う清掃ルートを作成を提案した。



■ 準グランプリ（独立行政法人環境再生保全機構理事長賞）

徳島大学 ふるさと愛好会 山班

活動名：里山地域での活動と展望

活動概要：徳島県の9市町村で、地域の課題を地域全体で解決するボトムアップ式のまちづくり活動を実践しており、地域の住民、地域おこし協力隊と協力しながら、様々な地域振興活動に関わる活動を行っている。



なお、イベント当日の詳細については、独立行政法人環境再生保全機構が発行する情報誌「全国ユース環境ネットワーク vol.4」に掲載し、本大会に応募いただいた活動を掲載した「全国ユース環境活動事例集 2016」とともに全国の高校へ3月中旬に送付する予定です。



環境省
Ministry of the Environment

独立行政法人
環境再生保全機構
ENCA

UNITED NATIONS
UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute for Global Environmental Studies

本誌「全国ユース環境活動事例集 2016」は、全国の高校生や大学生・ユース世代が実践している環境活動を広く紹介し、情報交換や交流の機会を創るために発行いたします。

環境省
独立行政法人
環境再生保全機構